



2018年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月7日

上場会社名 K&Oエナジーグループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1663 URL <http://www.k-and-o-energy.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶田 直
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部マネージャー (氏名) 新井 賢太郎 (TEL) 0475-27-1011
 四半期報告書提出予定日 2018年8月8日 配当支払開始予定日 2018年9月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2018年12月期第2四半期の連結業績 (2018年1月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第2四半期	32,651	5.0	2,184	△5.1	2,469	△1.8	1,732	△2.1
2017年12月期第2四半期	31,087	1.0	2,301	△17.2	2,515	△15.9	1,769	△8.4

(注) 包括利益 2018年12月期第2四半期 1,479百万円(△21.7%) 2017年12月期第2四半期 1,887百万円(77.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第2四半期	63.47	63.06
2017年12月期第2四半期	64.63	64.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年12月期第2四半期	90,894	75,460	78.8
2017年12月期	91,644	74,985	77.7

(参考) 自己資本 2018年12月期第2四半期 71,580百万円 2017年12月期 71,162百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2018年12月期	—	14.00			
2018年12月期(予想)			—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年12月期の連結業績予想 (2018年1月1日～2018年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,700	6.9	2,700	△11.5	3,100	△10.8	2,000	△17.2	73.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年12月期2Q	30,336,061株	2017年12月期	30,336,061株
② 期末自己株式数	2018年12月期2Q	3,233,997株	2017年12月期	2,944,684株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2018年12月期2Q	27,300,022株	2017年12月期2Q	27,386,191株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社グループの業績は、ガス事業の比重が高いことから、その性質上、気温などの影響により著しい季節的変動があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や通商問題の動向、金融資本市場の変動の影響が懸念されたものの、企業収益や雇用・所得環境の改善に支えられ、緩やかな回復基調で推移しました。

こうしたなか、当第2四半期連結累計期間の売上高については、主に一部販売価格の上昇などによってガス事業の売上高が増加したことにより、5.0%増加の326億51百万円となりましたが、家庭向けのガス販売量の減少や研究開発費の増加などにより、営業利益については5.1%減少の21億84百万円、経常利益については1.8%減少の24億69百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益については2.1%減少の17億32百万円となりました。

なお、増減の比較については、全て「前年同期」との比較であります。また、当社グループの業績は、ガス事業の比重が高いことから、その性質上、気温などの影響により著しい季節的変動があります。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

<ガス事業>

輸入エネルギー価格の影響による一部販売価格の上昇などにより、売上高については5.2%増加の298億5百万円となりました。一方、春季の気温が高めに推移したことによる家庭向けのガス販売量の減少などにより、営業利益については1.6%減少の30億22百万円となりました。

<ヨウ素事業>

国際市況が回復基調で推移したためにヨウ素販売価格が上昇したことや、ヨウ素販売量が増加したことなどにより、売上高については7.7%増加の17億40百万円、営業利益については15.5%増加の5億95百万円となりました。

<その他>

グループ企業再編により一部事業が非連結子会社に移管されたことなどにより、売上高については2.2%減少の11億5百万円となりました。また、小売参入を控えた電力事業における費用の増加などにより、営業利益については56.8%減少の39百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

<資産の部>

流動資産は、ガス売掛金の減少による受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ2.3%減少の343億49百万円となりました。また、固定資産は、設備投資による機械装置及び運搬具の増加などにより、前連結会計年度末に比べ0.1%増加の565億45百万円となりました。以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ0.8%減少の908億94百万円となりました。

<負債の部>

流動負債は、ガス買掛金の減少による支払手形及び買掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ12.6%減少の82億円となりました。また、固定負債は、繰延税金負債の減少などにより、前連結会計年度末に比べ0.6%減少の72億33百万円となりました。以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ7.4%減少の154億34百万円となりました。

<純資産の部>

純資産合計は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ0.6%増加の754億60百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

<現金及び現金同等物の四半期末残高>

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、期首に比べ11.9%減少の171億32百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

税金等調整前四半期純利益や減価償却費などにより、48億52百万円の収入（前第2四半期連結累計期間に比べ5.1%増加）となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

有形固定資産の取得などにより、64億66百万円の支出（前第2四半期連結累計期間に比べ45.5%減少）となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

自己株式の取得などにより、7億4百万円の支出（前第2四半期連結累計期間に比べ338.1%増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しについては、2018年2月14日付の「平成29年12月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更ありません。詳細については、2018年2月14日付の「平成29年12月期 決算短信」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,171	16,352
受取手形及び売掛金	6,441	5,317
有価証券	6,141	10,310
たな卸資産	1,005	1,079
その他	1,406	1,293
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	35,160	34,349
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,027	12,684
機械装置及び運搬具（純額）	17,474	17,103
その他（純額）	9,709	9,994
有形固定資産合計	40,211	39,782
無形固定資産	1,069	1,138
投資その他の資産		
投資有価証券	13,241	13,693
その他	2,008	1,978
貸倒引当金	△47	△47
投資その他の資産合計	15,202	15,624
固定資産合計	56,483	56,545
資産合計	91,644	90,894
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,316	3,258
引当金	28	26
その他	5,034	4,915
流動負債合計	9,378	8,200
固定負債		
長期借入金	801	984
退職給付に係る負債	4,949	4,905
引当金	153	173
その他	1,376	1,170
固定負債合計	7,280	7,233
負債合計	16,659	15,434

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,000	8,000
資本剰余金	13,928	13,950
利益剰余金	49,668	50,939
自己株式	△1,131	△1,686
株主資本合計	70,465	71,202
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,247	884
退職給付に係る調整累計額	△550	△507
その他の包括利益累計額合計	697	377
新株予約権	206	221
非支配株主持分	3,616	3,659
純資産合計	74,985	75,460
負債純資産合計	91,644	90,894

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)
売上高	31,087	32,651
売上原価	24,273	25,913
売上総利益	6,813	6,738
販売費及び一般管理費	4,511	4,554
営業利益	2,301	2,184
営業外収益		
受取配当金	117	189
受取賃貸料	70	69
その他	88	86
営業外収益合計	276	345
営業外費用		
賃貸費用	12	12
寄付金	33	34
その他	16	13
営業外費用合計	62	60
経常利益	2,515	2,469
特別利益		
受取損害賠償金	24	—
その他	0	—
特別利益合計	25	—
特別損失		
固定資産除却損	37	36
その他	1	1
特別損失合計	38	38
税金等調整前四半期純利益	2,501	2,431
法人税等	717	640
四半期純利益	1,784	1,790
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	57
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,769	1,732

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	1,784	1,790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65	△354
退職給付に係る調整額	38	42
その他の包括利益合計	103	△311
四半期包括利益	1,887	1,479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,870	1,413
非支配株主に係る四半期包括利益	17	65

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,501	2,431
減価償却費	2,120	2,222
受取利息及び受取配当金	△164	△203
支払利息	13	9
売上債権の増減額(△は増加)	704	1,089
たな卸資産の増減額(△は増加)	△22	△74
仕入債務の増減額(△は減少)	△420	△1,056
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△86	△43
その他の引当金の増減額(△は減少)	32	17
固定資産除却損	25	9
その他	△99	678
小計	4,604	5,079
利息及び配当金の受取額	185	206
利息の支払額	△13	△9
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△159	△423
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,616	4,852
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,231	△2,757
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△19,311	△16,785
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	12,933	14,153
その他	△261	△1,077
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,871	△6,466
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	505	505
長期借入金の返済による支出	△282	△260
自己株式の取得による支出	△0	△559
配当金の支払額	△382	△382
その他	—	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△160	△704
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,415	△2,319
現金及び現金同等物の期首残高	23,382	19,451
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,967	17,132

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当社の連結子会社でありましたオータキ産業㈱は、2018年1月1日付で当社の連結子会社である大多喜ガス㈱を存続会社とする吸収合併により消滅したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス事業	ヨウ素事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	28,341	1,615	29,956	1,130	31,087	—	31,087
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	37	—	37	5	43	△43	—
計	28,378	1,615	29,993	1,136	31,130	△43	31,087
セグメント利益	3,070	515	3,585	90	3,676	△1,374	2,301

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業及び器具販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,374百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,507百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス事業	ヨウ素事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	29,805	1,740	31,546	1,105	32,651	—	32,651
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	36	94	131	0	132	△132	—
計	29,842	1,835	31,677	1,106	32,783	△132	32,651
セグメント利益	3,022	595	3,617	39	3,657	△1,472	2,184

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業及び器具販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,472百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,608百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。